

# 検査情報月報 1月号 ▶ 概要版 ◀



Eiちゃん

▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、検査情報月報を発行しています。



2022年1月発行

## 横浜市内の蚊成虫生息状況調査結果（令和3年5月～10月）

蚊媒介感染症サーベイランス事業の一環として、市内の公園で蚊成虫の生息状況を調査しています。蚊媒介感染症には、デング熱、ジカウイルス感染症、チクングニア熱、ウエストナイル熱、日本脳炎、マラリアなどがあり、それぞれ媒介する蚊の種類が違います。そのため、平常時から地域特有の蚊成虫の生息状況を把握しておくことは、病原体の侵入を監視し、感染症の地域流行を防ぐ対策のひとつになります。

**主な結果 ▶ ライトトラップ法**による捕獲調査は、23公園(24か所)で延べ254回行い、7属12種8,404個体でした。**最多がヒトスジシマカ**で5,859個体(69.7%)、次いでアカイエカ群が1,823個体(21.7%)でした。前年度(令和2年度)は新型コロナウイルス感染症対応の影響で調査を縮小しましたが、今年度は例年通り実施しました。そのため前年度より種類数、捕獲数ともに増加しましたが、**ヒトスジシマカとアカイエカ群の捕獲率に大きな変化はありません**でした。

▶ **人囀(ひとおとり)法**による捕獲調査は、4公園(12定点)で延べ143回行い、ヒトスジシマカが494個体でした。

▶ 雌成虫について実施した蚊媒介感染症の原因ウイルスの遺伝子検査は、**全て不検出**でした。



## 横浜市衛生研究所WEBページ情報（令和3年12月）

衛生研究所は保健所と連携しながら、科学的・技術的支援機関として、市民生活に密着した健康・安全・安心に関する試験検査や調査研究を実施しています。また、これらの業務で得られた感染症、保健、食品衛生、生活環境衛生、薬事に関連する情報を、WEBページなどで公開しています。

そのうち感染症に係る内容は、感染症・疫学情報課に設置された横浜市感染症情報センターが発信する情報です。本センターは市内における患者情報及び病原体情報を収集・分析し、市民や医療機関へ提供することで、感染症対策に役立てています。

**主な結果 ▶ 12月の総アクセス件数は 211,178件**で、11月に比べて 14.1%増加しました。

▶ アクセス件数の主な内訳は、**横浜市感染症情報センター 76.9%**、保健情報 10.6%、検査情報月報 3.6%でした。



Kenくん

横浜市衛生研究所

検索



横浜市 検査情報

検索

